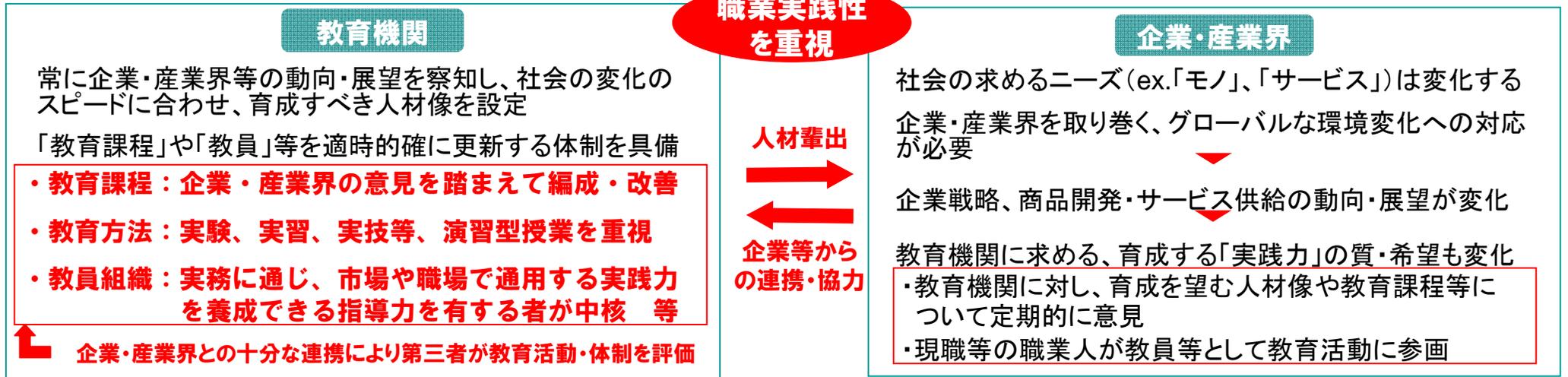
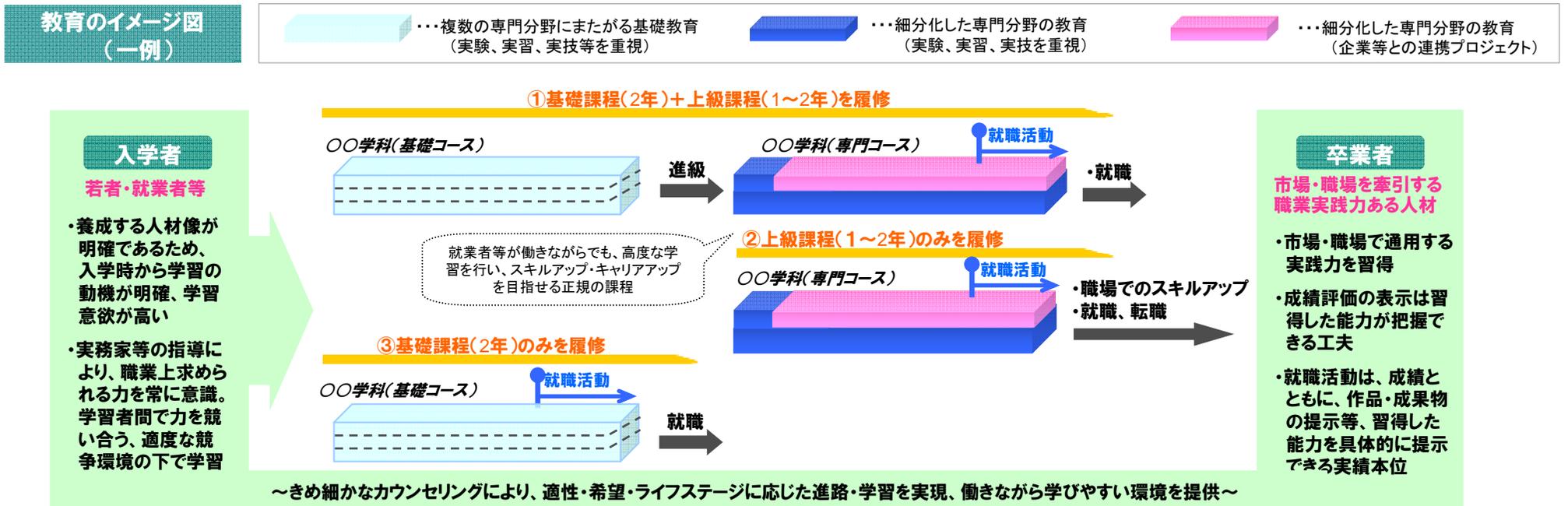


高等教育における「職業実践的な教育に特化した枠組み」の構想 ～イメージ～



～高等教育における職業実践的な教育の質を制度的に担保～



職業教育に特化した枠組みの使命・意義・必要性を考えるにあたって

I : 地域経済・産業振興の観点から（経済界関係委員の御意見に基づく枠組みの在り方の一案）

我が国の経済成長のためには、地域経済・産業の活性化・発展が不可欠。産官学協働により、地域の潜在力を十分に引き出し発揮していくための人を育て、知を生む、新しい枠組みとして位置づけ、機能させる。地域を基点に、海外市場も対象に活躍する人材の養成に重点を置いた枠組みとする。

【コンセプト】

- ◆専門的知識・技術を核に、地域の強みを生かした産業・事業を、海外市場も対象に、創出・事業展開できる人材を育成
- ◆地域の商工会議所・中小企業団体、農林漁業畜産組合、企業等関係者、②行政関係者、③教育関係者の3者が、教育プログラムの作成・運営に一貫して関与。
- ◆教育プログラムは、モジュールで構成。在籍可能年限の間に全モジュールを体系的に学び卒業。
- ◆企業内実習等就業経験は、短期・長期を段階的に複数回行う。産業における事業の一連の流れを経験させる機会を組み込む。
- ◆分野は、たとえば、新成長戦略において構築を図ることとされている「キャリア段位制度（日本版NVQ）」と、枠組みにおいて履修する専門的な知識・技術との将来的な連動を考慮し、「新たな成長分野」を中心とすることが考えられる。（「新たな成長分野」= 介護、保育、農林水産、環境・エネルギー、観光）

○中小企業経営全体を理解する。
○事業の流れを理解することにより、新たなシステム構築・事業展開を目指す力を養う。
○興味関心を抱いた事業の流れの部分について、専門深化していく芽を育てる。

【教育プログラム作成・運営のための協働体制】

- ①a.地域の商工会議所・中小企業団体、農林漁業畜産組合、企業等関係者、b.行政関係者、c.教育関係者からなる委員会を組織。
- ②当該地域の特色・強み、地域資源（自然資源、伝統、文化、芸術）等を洗い出し。
- ③地域の産業における典型的な事業の一連の流れを整理。
- ④産業において必要な専門知識・技術を整理。
- ⑤教授にあたることのできる地域及び国内外の実務家・専門人材を洗い出し。
- ⑥企業内実習等の受入先を確保。等

【教育プログラム例】 * 実験、実習、実技、企業内実習、チームワーク、ディスカッション等、演習型・協働型の授業手法を多く採り入れる。

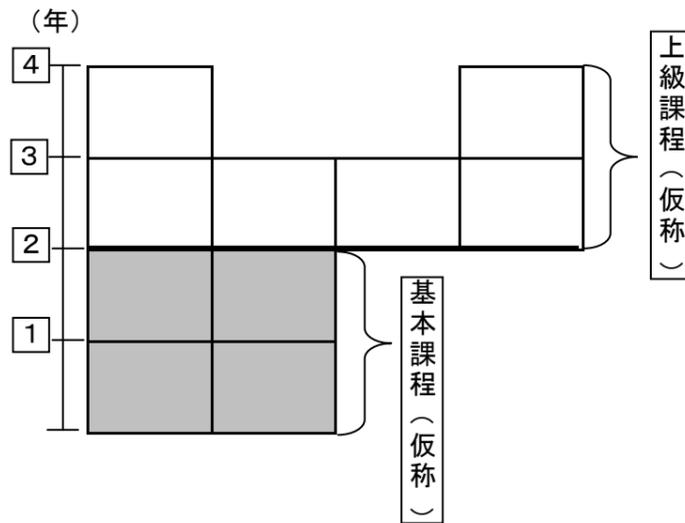
モジュールA-1: 地域を知る 地域に存在する産業の概要を知る 地域資源を知る(自然資源、伝統、文化、芸術)	モジュールB群: 専門知識・技術を身に付ける 専攻分野に関する知識・技術を、数個のモジュールで段階的に履修。	モジュールC-1: 国の主要産業を知る 国の主要産業の概要を知る 国の主要資源を知る(自然資源、伝統、文化等)	モジュールD-1: 重要な他国の地域を知る 地域が重視する他国地域の概要を知る 他国地域の主要資源を知る(自然資源、伝統、文化等)	モジュールE群: 職業人として必要な事柄を学ぶ 職業人として必要な知識・技術を、数個のモジュールで段階的に履修。
モジュールA-2: 地域産業の事業の流れを知る 地域の産業の事業の一連の流れを学ぶ 例: 金物製造の原材料仕入れ、生産、加工、卸 例: 桜桃の生産、流通、販売	(注1) 将来的に、キャリア段位制度(日本版NVQ)との連動が考えられる	モジュールC-2: 国の主要産業の事業の流れを知る 国の主要産業について、典型的な事業の一連の流れを学ぶ ①複数企業が関与する流れ ②単体企業で完結する流れ 例: 仕入れ、生産、加工、流通、販売 例: 保管、在庫管理、配送、受発注、納入管理	モジュールD-2: 他国地域産業の事業の流れを知る 他国地域の主要産業について、典型的な事業の一連の流れを学習する。 ①複数企業が関与する流れ ②単体企業で完結する流れ 例: 仕入れ、生産、加工、流通、販売 例: 保管、在庫管理、配送、受発注、納入管理	(例A) ・職業人としての態度・思考・行動・責任 ・労働者の権利と義務
モジュールA-3: 地域の産業体験 地域の産業を、数種類(又は同種数社)各1週間程度体験する	(注2) 同分野に関する就業経験や他の学校等での履修経験があり、一定の専門知識・技能を有する場合には、当該経験をもって、授業科目やモジュールを履修したものと見なすことが考えられる。	モジュールC-3: 他地域を知る 他地域に存在する産業の概要を知る 他地域資源を知る(自然資源、伝統、文化、芸術)	モジュールD-3: 他国地域の商慣行等を知る 他国地域の商取引関係法、商慣行、労働環境等を学ぶ 他国地域の言語・商取引上の共通言語を学ぶ	* 例Bは、管理的立場や経営的立場に立つ者を対象とする課程を別に編制し、より集中的・専門的に教授することも考えられる。
モジュールA-4: 地域の産業経験、課題・優位性の発見 地域の産業から1~2社選択し、事業の一連の流れを、複数回計数ヶ月に渡り全て経験し、地域の産業の課題・優位性を発見する(CD-4連動)		モジュールC-4: 自地域の課題・優位性を見出す 他地域の課題・優位性、好事例を学ぶ 自地域の課題・優位性、連関方策を見出す	モジュールD-4: 自地域と他地域の連関を考える 他国地域の課題・優位性を学ぶ 自地域の課題・優位性、連関方策を見出す	(例B) ・指導者・管理者の態度・思考・行動・責任 ・経営者・使用者の態度・思考・行動・責任 ・決済・会計・税務 ・物流 ・小売・卸売 ・マーケティング・消費者心理 ・店舗経営・起業 等
モジュールA-5: 地域の産業活性化・振興策の考案 各モジュールで履修した成果を統合し、地域の産業における新たな商品・サービス等の創出、海外・国内展開方策を、地域産業・企業・行政等の助言を受けつつ考案する				

専門的知識・技術を核に、地域の強みを生かした産業・事業を、海外市場も対象に、創出・事業展開できる人材の育成
 地域における若者の円滑な就業・定着・活躍と、地域の産業活性化・振興を同時に実現。

職業実践的な教育に特化した枠組みの教育課程のイメージ(一案)

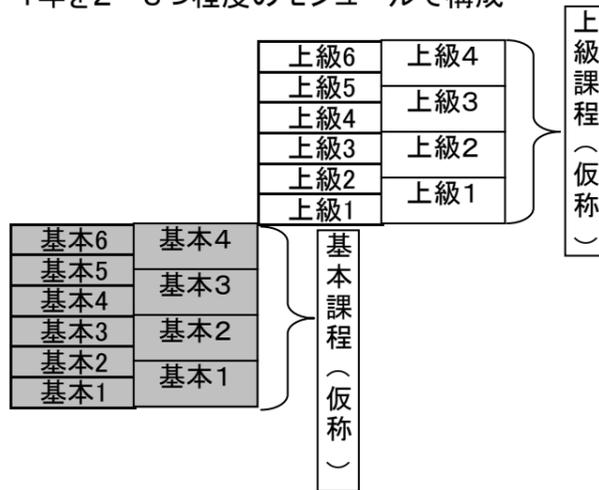
(1) 教育課程の構成のイメージ

第一の課程としての基本課程(仮称)と、
第二の課程としての1年又は2年の上級課程(仮称)で構成



(2) モジュールのイメージ

1年を2~3つ程度のモジュールで構成



(3) 教育課程の特徴(想定される分類や要素の例)

①分野横断的に学ぶもの

◆分類1: 働くことから学ぶ

要素1: 企業内実習、模擬出店、アルバイト等により、2分野以上の勤労体験を持つ。
要素2: 勤労体験から学んだことを説明し、働くことの意義や動機付けを分析し理解する。職業人としての態度・質・技能の重点を理解する。

◆分類2: 働くことについて学ぶ

要素3: 働くことや起業についての知識を獲得する。
要素4: 経済・労働市場の概念や産業についての基礎的識を獲得する。
要素5: 経営や、雇用者・使用者の役割・権利・責任についての知識を獲得する。

◆分類3: 働くことのために学ぶ

要素6: 起業や雇用されるために必要となる能力に関する技能を獲得・向上する。
要素7: 財務、経済動向の把握・分析、ビジネスに関する知識・技能を獲得する。
要素8: コミュニケーション能力、数学的応用力、情報技能、問題解決能力、協調性、自己向上力などを獲得・向上する。

②分野毎に学ぶもの

要素9: 特定の職業に必要な知識・技能を獲得する。
要素10: 特定の業種/職種・業態・業界についての具体的な知識を獲得する。
要素11: 特定の職業における課題対応能力を獲得・向上する。
要素12: 様々な知識・技術を融合し、新たな商品やサービスを生み出すことのできる創造力を生むための知識・技能を獲得する。
要素13: 入職後の中長期的なキャリアを見据え、より高度な専門性を身につけていく上での基礎となる知識・技能を獲得する。